

静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

(2022年10-12月期実績、2023年1-3月期見通し)

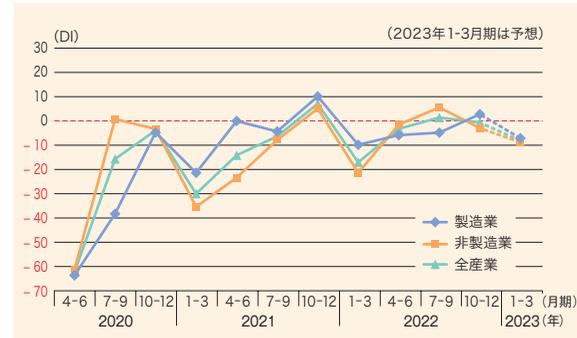
① 業況概要(自社)

製造業は上昇してプラス水準も、非製造業は低下

静岡県東部地域における2022年10-12月期の業況判断DI(全産業:前期比)は-0.6(前期1.4)と低下に転じ、2期ぶりにマイナスの水準となった。うち、製造業では2.8(前期-4.8)と上昇が続きプラス水準となった。パルプ・紙・紙加工品で大幅に上昇、また食料品、金属製品でも上向いている。一方、非製造業は-2.9(前期5.6)と3期ぶりに低下に転じた。旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービス業全般、建設業とも低下している。

2023年1-3月期の予想DI(今期比)は全産業で-8.1と引き続き低下が予想されている。今期改善した製造業(-7.1)は再び低下、非製造業(-8.8)ではさらに低下が

見込まれるなど先行きへの懸念がみられる。



業種別天気図

業種	業況好調 ←				業況不振 →			
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2022年7-9月期	☁️	☁️☔️	☔️	☀️☁️	☁️	☁️	☀️	☁️
2022年10-12月期	☁️	☁️☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️
2023年1-3月期	☁️	☁️☔️	☀️☁️	☀️	☁️	☁️	☔️	☔️

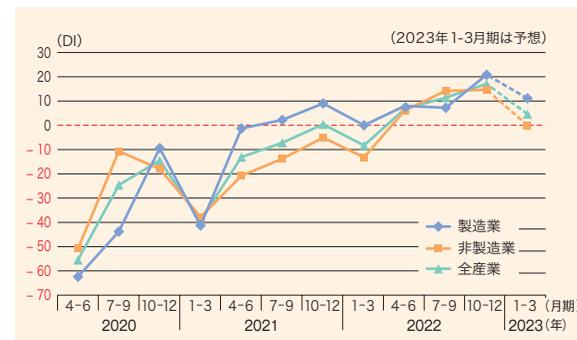
(2022年7-9月期、10-12月期は前期比、2023年1-3月期は今期比予想)

② 売上動向

製造業は大幅に改善、非製造業は前期比ほぼ横ばい

2022年10-12月期の売上動向DI(全産業:前期比)は、17.1(前期11.4)と3期連続で上昇し改善傾向が続いている。うち、製造業ではパルプ・紙・紙加工品とその他製造業などで大幅に上昇したため、全体では20.8(前期7.2)と大幅な改善となった。一方、非製造業では、建設業と旅館・その他宿泊所で低下に転じたが、卸・小売・サービス業全般では改善したため、全体では14.6(前期14.2)とほぼ横ばいで推移している。

2023年1-3月期の予想DI(今期比)は全産業で4.6、うち製造業では11.1、非製造業は0.0となり、いずれも低下が予想されている。

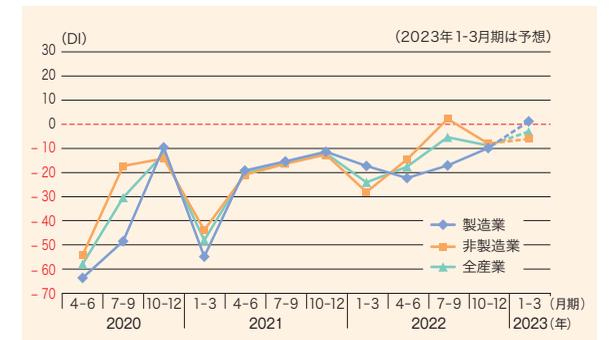


③ 利益動向

製造業は大幅に改善も、非製造業は低下に転じる

2022年10-12月期の利益動向DI(全産業:前期比)は、-8.6(前期-5.2)と低下に転じた。前期大幅な改善がみられた非製造業では、卸・小売・サービス業はわずかに上昇したものの、建設業が30ポイント以上の大幅な低下となったため、全体でも-7.8(前期2.4)と低下に転じ、マイナス水準となった。一方、製造業はパルプ・紙・紙加工品と金属製品で大幅に改善したため、全体で-9.7(前期-16.9)と2期連続で上昇し、非製造業との差は縮小した。

2023年1-3月期の予想DI(今期比)は、全産業で-2.9、うち製造業は1.4、非製造業は-5.9といずれも改善への期待がみられる。



④ 経営上の問題点

「原材料・資材・仕入商品の値上り」が引き続き50%を上回る

「原材料・資材・仕入商品の値上り」の回答割合は前期と同程度で推移し、引き続き50%を上回っている。また、「人件費の増加」の割合が前期より5ポイント上昇、「原材料・資材・仕入商品の入手難」も同2ポイント上昇している。一方、前期大幅に上昇した「人材の育成」は今期低下に転じ、「受注・売上の停滞・減少」や「求人難」の割合を下回った。

仕入商品の入手難も同2ポイント上昇している。一方、前期大幅に上昇した「人材の育成」は今期低下に転じ、「受注・売上の停滞・減少」や「求人難」の割合を下回った。

問題点	2022年4-6月期		2022年7-9月期		2022年10-12月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 原材料・資材・仕入商品の値上り	135	61.6%	122	58.1%	101	57.7%	→
2. 受注・売上の停滞・減少	100	45.7%	74	35.2%	60	34.3%	↑
3. 求人難	65	29.7%	74	35.2%	58	33.1%	→
4. 人材の育成	65	29.7%	78	37.1%	50	28.6%	↓
5. 従業員の高齢化	54	24.7%	57	27.1%	45	25.7%	→
5. その他経費の増加	40	18.3%	53	25.2%	45	25.7%	↑
7. 人件費の増加	41	18.7%	38	18.1%	41	23.4%	→
8. 原材料・資材・仕入商品の入手難	45	20.5%	33	15.7%	31	17.7%	→

(回答企業219社) (回答企業210社) (回答企業175社)

調査の概要

- 調査目的: 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業: 静岡県東部地域に立地する企業757社 回答企業数175社(回答率23.1%)
- 調査方法: 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間: 実績:2022年10-12月期 見通し:2023年1-3月期
- 調査時点: 2022年11-12月
- その他: 本調査結果は、11月25日時点での集計により分析した速報値です。最終的な確報値は、今後、弊社ウェブサイトに掲載する予定です。

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標